

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0410
施設名	れんげ上北台保育園
施設所在地	東大和市蔵敷3-691-2
法人名	社会福祉法人蓮花苑

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

ペットボトルにセロファンと水を入れた手作り玩具を5歳児男児が持ってきた事をきっかけに、その玩具をかざした時にキラキラひかる光を見つけたクラスの子ども達が、「光って何だろう?」「影って何だろう?」の疑問から【光と影】をテーマにして探究活動をしていった。

2. 活動スケジュール

8/23「光を作って遊ぶ」40分

8/27「キラキラペットボトル制作」45分

11/6「透かし絵」30分

12/10「かげふみ・影絵あそび」60分

12/11「影絵あそび」40分

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

8/23 プールで活動、アクリル製のモザイク玩具

8/27 テラスで活動、ペットボトル、セロファン、はさみ、水

11/6 日の当たる窓で活動、塗り絵

12/10 園庭で活動、好きな玩具、画板、画用紙、鉛筆

12/11 室内で活動、クレヨン、色鉛筆、鉛筆

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

8/23 プールにて、アクリル製のモザイク玩具を使用し光を作って遊んだ。

8/27 ペットボトル、セロファン、はさみ、水を使用し手作り玩具を作成。自分で水を入れやすいように水道の傍で活動を行い、作った玩具のひかりで遊べるように、天気の良い日にテラスで行った。

11/6 太陽の光を利用し窓に塗り絵を透かし、絵を描いた。

12/10 天気の良い日に園庭で活動する。好きな玩具、画板、画用紙、鉛筆を使用し影をなぞって絵を描いた。

12/11 昨日描いた絵に色鉛筆で色を塗り、絵を完成させた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

8/23 “イロイロモザイク”というアクリル製の玩具を用意し、天気の良い日に大きいプールの中で活動を行う。光はどうやってできるのかな?という声掛けに、玩具を陽の光に当てて水面にキラキラと色を映し光を作っていた。玩具の色が重なるると色が変わることを「青と黄色が重なるると緑色になるよ」と発見して友達と気づいたことを共有する様子があった。

8/27 水やセロファンをどの位入れるか、子ども達が考えながら制作していた。ペットボトルを振り「光が混ざって見える」と言ったり、ペットボトルを転がして光がキラキラするのを見つけて楽しんでいった。

11/6 雲で太陽が隠れると絵が透けないということに気が付き、子ども達が太陽の光が入る窓を自分で選び塗り絵を行っていた。「雲が出てくると光が出ないから絵が描けない」という空の様子を見て遊びを進めていた。

12/10 天気の良い日に園庭でかげふみや影絵あそびをした。光が当たると影ができる事に気づいた。好きな玩具を持ってきて影を映し、影の輪郭を描いて遊んだ。玩具の影が良く映る場所を探して取り組んでいた。光の差し方で影の大きさが変わるので、「どこにおもちゃを置こうかな」「ここだと影が見える」などと言って楽しんでいった。

12/11 影を映した絵に色を付けをした。細かい所までよく見てじっくり取り組んでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

クラスの子が持ってきたペットボトルをきっかけに、子ども達の「作ってみたい!」という気持ちや「どうやって作るのかな?」という探求心、創造力と思いつきが沢山見られた。太陽の光とアクリル製のブロックで影にも色が付く発見をした時はとても嬉しそうだった。太陽が雲で隠れると影が見えなくなってしまうという気づきもあった。ペットボトル制作では、ペットボトルを転がすと“影が海みたい”と言ったり、ペットボトルを振って泡が出来た所を影にしたりし、考えながら遊ぶ姿が見られた。そうした遊びから、物にも影があることを知り玩具を光にあてて影を作る遊びを行った。その後は影をなぞり絵を描くことに発展した。子ども発信で始まった「光と影」の遊び。子どもの自主性を尊重し、活動が行われたところが良かった。子ども同士で遊びを展開し、発見したことを分かち合い伝え合う様子が沢山見られた。